



2025 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 ヒ ラ キ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役 梅 木 孝 雄
(コード:3059、東証スタンダード)
問合せ先 取締役現業支援本部長
姫 尾 房 寿
(TEL 078-967-4601)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025 年 5 月 14 日に公表いたしました 2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異について

(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,600	80	80	50	10 円 27 銭
実 績 (B)	6,123	△50	△46	△61	△12 円 57 銭
増 減 額 (B - A)	△476	△130	△126	△111	—
増 減 率 (%)	△7.2	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期中間期)	6,545	62	61	37	7 円 78 銭

2. 差異の理由

売上高につきましては、店舗販売事業は総合店・専門店共に概ね予想通りとなった一方、通信販売事業は、物価高による実質賃金の低下といった外部環境の変化の中で、受注の牽引役となる販売促進商品の販売が伸び悩みました。また、価値を魅力的かつ効果的に表現することが十分にできなかったことも影響し受注件数が予想に届かず、当初計画を下回る結果となりました。

利益面におきましては、販管費の削減は図れたものの通信販売事業の減収が大きく影響した結果、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益において計画を下回る水準となり差異が発生しました。

なお、通期連結業績予想につきましては、中間期において予想を下回った通信販売事業について、商品ラインアップの充実および販売促進の追加策を講じることにより、売上高・利益の確保を予想し、2025 年 5 月 14 日に公表しました数値を据え置いております。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上